

南山の風

「みなみ」を紹介します！

紹介：地域小規模児童養護施設「みなみ」とは？

平成29年4月1日(土)、児童養護施設南山寮の分園として、地域小規模児童養護施設「みなみ」がスタートしました。社会福祉法人愛知育児院の131年の歴史の中で、法人の敷地の外に居を構えるのは初めてのことです。「みなみ」は、南山寮の西1.5kmほどの昭和区長戸町(松栄小学校区)にあり、徒歩で15分、自動車や自転車であれば5分の距離のところ。平成24年築の白を基調とした2階建ての5LDKで、自動車を2台とめることができる好物件の借家を、子どもたちの新しい「おうち」として契約することができました。おうちの特徴は以下の通りです。

- LD床暖房有
- 駐車場2台分
(カーポート・シャッター付)
- 各居室雨戸電動シャッター
- 浴室乾燥機
- 食器洗乾燥機
- トイレ2か所
- カウンターキッチン
- 床下収納(キッチン)
- ウォークインクローゼット
- 南北2か所のバルコニー
- TVモニター付きインターフォン

次に、「みなみ」という名称の由来です。これまで開設に向けたプロジェクトにて、多くの地域小規模児童養護施設を見学させていただく中で、南山寮が目指す地域小規模児童養護施設は、生活する子どもたちにとって、限りなく家庭に近い、温もりのある「家」にしたい、本物の家庭養護を実現したいという気持ちがありました。そして、表札にも、「社会福祉法人」や「児童養護施設」という言葉は使わず、一般家庭と同様な名前を掲げようということになりました。そこで、小規模化プロジェクトメンバーから出された名前の候補が「みなみ」だったので、南山寮のある場所が元々「みなみやま」という



地名であることも関係していますが、「みんなで なかよく 未来に向かって」という想いが込められた名前です。ひらがなで「みなみ」という表札が掲げられています。まるで「みなみ」という苗字の大家族が住んでいるかのようなイメージを地域社会の人たちに持ってもらいたいというのも目的のひとつです。

「みなみ」が開所するに際し、松栄学区の水谷区政協力委員長様、伊藤民生委員児童委員協議会会長様のご支援を賜りましたが、さらに地域の皆様にご理解とご支援をいただけるように



と、3月29日(水)、地域の皆様を対象とした内覧会を開催しました。9名の皆様がおいでになり、「みなみ」の開所を喜んで下さいました。

「みなみ」の開設にあたっては、公益財団法人SBI子ども希望財団様より、285万円もの助成金をいただくことができ、必要な家財道具や家庭電化製品の購入に充てさせていただきました。

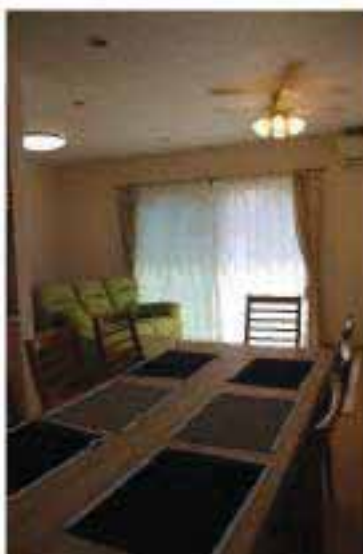
【リビング・ダイニング】

【児童の居室(2人部屋)】

【浴室】



【「みなみ」外観】



さて、「みなみ」の子どもたちの構成ですが、児童相談所の児童福祉司さんたちとも協議の上、高2女子、高1女子、小3女子、小1男子、小1女子、年少男子の6名が南山寮からみなみへ引っ越しをしました。高校生1名、小学生2名、幼児1名が「みなみ」から入学・入園をしました。名古屋市立松栄小学校は、「みなみ」から徒歩5分のところにあります。高校生は地下鉄川名駅からそれぞれの高校に通学しています。幼児さんは職員が毎日自転車や公用車で送迎しています。「みなみ」の専従職員3名は、南山寮からの応援職員

4名と協力し、子どもたちに限りなく家庭に近い環境を提供すべく、日夜奮闘しています。最も大変なのは食事の支度です。三食の献立を考え、買い物し、食事を作ることが業務の大半を占めている状況です。子どもたちは、施設を離れ、すっかり「家庭」の生活に馴染み、ゆったり、のんびりとした日々を楽しんでいます。 <文責：施設長 山田 勝己>



入園・入学おめでとう！

今年度も南山寮では、新しく幼稚園・小学校・中学校・高校と、新しく入学する子ども達があります。夢や希望に満ち溢れた子どもたちの入園・入学式に出席してきましたので、ご報告させていただきます。

入園式の日に向けて、数日前から制服の着脱の練習をしたり、名札を付ける、自己紹介の練習など準備はバッチリ！これまで登園のお見送りをしていたおにいさん、おねえさんと同じ制服に身を包み、笑顔で入園式に向かいました。

小学校の入学式が7日にありました。今年度の新一年生は二人の男の子です。入学式ということで、憧れのランドセルはひとまずお預けとなりましたが、桜舞う道のりを、幼稚園バスでなく、歩いて登校する姿はもう立派な小学生です。式では、大きな体育館や、自分の机、大きな運動場など、これまで経験したことのない出来事の連続で驚きの表情を浮かべていましたが、終始笑顔で、思い出に残る入学式となりました。

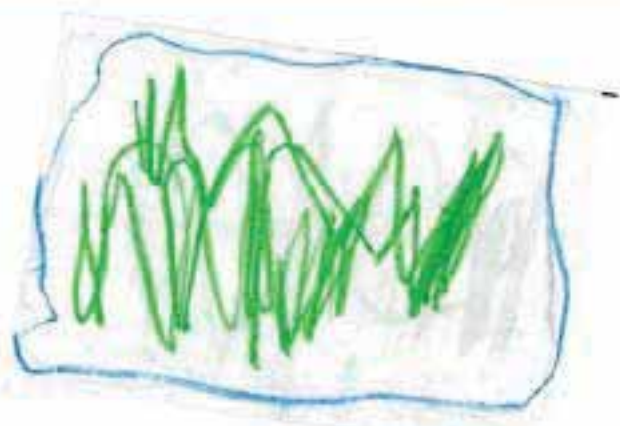
中学校の入学式では、知っている友達も多く、楽しい入学式となりました。小学生とは違い制服に身を包み、まだ小さい体にはやや大きめの制服ではあるものの、勉強や運動に一生懸命取り組み、心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。

高校生も負けてはいません。前日には、電車やバスの時間をしっかりと調べては、職員に何度も確認しました。中学の制服とは違い、それぞれ自分の選んだ憧れの制服に袖を通し、自分の目標に向かって決意を胸に真剣な眼差しで入学式に臨んでいました。

（文責：自立支援担当職員 林 大介）



平成 29 年度 南山寮新規採用職員紹介

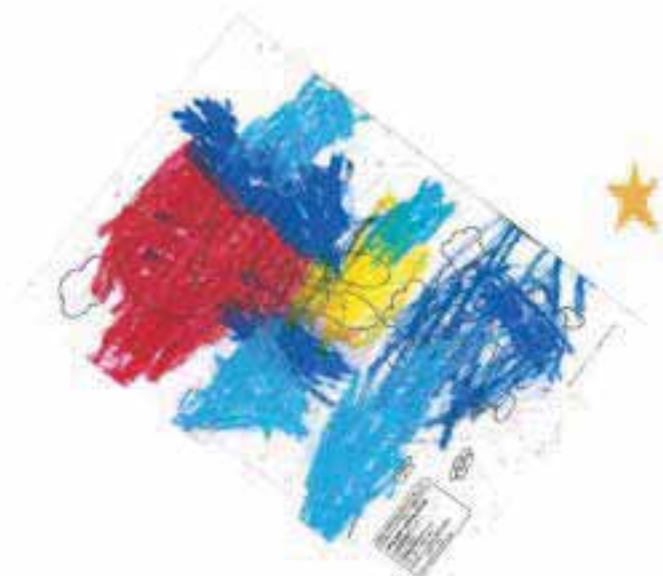


ふりがな おとこ しのぶ	名前 大谷 領		
ニックネーム 領兄さん	担当フロア 3F3号	血液型 A	出身地 愛知県刈谷市
自分を動物にたとえると… チワワ	人生最初の記憶は… 大に階段から落ちたこと		
好きな有名人は… 香川真司、水嶋ヒロ	人生最高の思い出は… 高校の卒業や迎いの時に有田がオムツを脱いでくれたこと		
私の自慢は… 帰国手紙です	今ハマってるのは… カー、スマホ		
私はこんな人です！ 面白いこと大好き！いつも楽しく生きてます。			

ふりがな みやま さちか	名前 宮島 さちか		
ニックネーム おねちゃん さちか	担当フロア オーロラ	血液型 A型	出身地 愛知県
自分を動物にたとえると… 犬	人生最初の記憶は… 祖母に抱っこされていたながら 高津アベノ村に引っ越すこと		
好きな有名人は… BIG BAMA、THE OMBL、山崎 耀子、DJの	人生最高の思い出は… 大宮の高校でバスケットボールが 上手な友達と練習したこと		
私の自慢は… バスケットボールが上手で、 バスケットボールの試合で活躍 していること	今ハマってるのは… バスケットボールの試合を観ることに		
私はこんな人です！ バスケットボールが好きで、練習も頑張ります。バスケットボールの試合を観ることも大好きです。バスケットボールの試合を観ることも大好きです。			



年齢 17歳		写真
名前 世井 麻帆		
ニックネーム	職業/アワード	出身地
ザザン	2下3上	
血液型		出身地
O型		愛知県 上野市
自分を動物にたとえると...	人生最初の記憶は...	
人魚	2歳半のころ、お風呂で寝て目を覚ましてびっくりしたとき	
好きな有名人は...	人生最高の思い出は...	
千原しのぶさん・望月あかりさん	文芸春秋の読書会に参加したこと	
私の目標は...	今ハマってるのは...	
7.11のアルバイト	読書	
私はこんな人です!		
毎朝、目覚ましで起きる。休みの日も、早起きで勉強する。		



年齢 17歳		写真
名前 西脇 友香		
ニックネーム	職業/アワード	出身地
ゆかちゃん・ゆかこ	アパレル	
血液型		出身地
O型		稲沢市
自分を動物にたとえると...	人生最初の記憶は...	
犬!!	赤ちゃんのころ、お留守番です	
好きな有名人は...	人生最高の思い出は...	
島崎一佳さん	初めはのろーDの旅行	
私の目標は...	今ハマってるのは...	
おはよう朝ごはんを食べる	手芸	
私はこんな人です!		
声が高く指が長く、表情豊かです! 一生懸命頑張ります、よろしくお願いします!!		

年齢 17歳		写真
名前 横川 杏		
ニックネーム	職業/アワード	出身地
よこちゃん ありん	オリオン	
血液型		出身地
O型		愛知県
自分を動物にたとえると...	人生最初の記憶は...	
ネコ	赤ちゃんのころ、お風呂で寝て目を覚ましてびっくりしたとき	
好きな有名人は...	人生最高の思い出は...	
AKB48のメンバーさん	高校生のころ、友達と旅行したこと	
私の目標は...	今ハマってるのは...	
いろんなキャラクターの絵を描くこと	お絵描き	
私はこんな人です!		
アニメや漫画、ゲームが好きで、友達と遊ぶのが大好きです。実はお絵描きも好きで、友達に教えることもしています。		



南山寮職員さんへのインタビュー

2016を振り返って



2016年度の各種行事（招待行事や行楽も含む）の中で、子どもたちにとっても、ご自身にとっても一番思い出に残った（と思われる）行事は何でしたか？

- ・「個別行事」時間に追われることなく、ゆったりと子どもにかかわれる。集団行動ではないので、個々のペースで行動がとれる。
- ・「卒寮生を送る会」送られる側、送る側各子どもたちの表情や会への臨み方を直にみられたので。
- ・「伊勢神宮」「スペイン村」幼児が唯一参加させてもらえた全体行事行楽だったので。
- ・「フットサル大会」負けたこと
- ・「海の家」係としてがんばったから
- ・「オーロラ行楽」夜の行楽で、普段遠くに小さくしか見えない花火をみんなで見に行って、子ども達もみんな口を大きく開けて、感動している姿がとても印象的でした。
- ・「海水浴」みんなでお泊りや海という、いつもと違う雰囲気はやはり楽しい
- ・「レゴ・ジャパンの招待」待ち時間の長さ、集合時間を意識しすぎて子ども達に早食いを強要してしまい、申し訳なかった気持ちがあるので心に残っています
- ・「お団子作り」お団子を作りながら、小学女兒の「小学生でも妊娠するんだよ」の言葉から、「生理があって、セックスをすれば、妊娠は可能だけれど…」と自然な形で小6と中3女兒への「性」についての話ができたこと。
- ・「伊勢志摩旅行」普段とは、異なる児童の一面が見れるから
- ・「山の家」日常で外遊びが苦手な子や、かかわりの少ない子ども同士がスキー、ボードだけでなく、宿泊や、雪を含む大自然を通して、かかわることができる。また、毎年楽しみにしており、一年を通して山の家についての話題が出る。
- ・「BBQ・もちつき」いつもの顔とは違う面が発見でき、楽しい。領内でのイベントですが、一番思い出に残っています。
- ・「山の家」やはり、自分でやりたいと思った企画ですし、楽しいからです。
- ・「コスモキャンプ」子どもと非日常的な時間を過ごせたとし、高3生徒の思い出にもなったし、浅井指導員も企画を上手に立て、彼の成長も感じる事ができた。

2017に向けて



2017年度を迎えるにあたり、この1年のあゆみの（仕事上の）目標・抱負を教えてください。

- ・リーダー業務に慣れる事。一日でも早く定着させ、自分らしさも加えていきながら、温かい部屋を作りたい。そして、下の子たちを育てていきたい。
- ・本体である南山寮と地域小規模みなみの円滑な運営（日々の業務を一段と効率よく、現場スタッフに迷惑をかけない）
- ・地域小規模の生活に慣れる。地域小規模施設を温かく、安心できるようにする。
- ・幼児に対して、楽しい気持ちにさせる声掛けと表情を意識して作って対応したい。
- ・児童に何事にも責任があることを伝えていきたい（自分で使った物の責任やごみの責任、取り組んでいることの責任など）
- ・一日一つ、担当している子の頑張っていた事を見つけ、記録に残して、年度末に本人に「今年はこんなに沢山のことをがんばっているんだよ」と伝えてあげたいです。
- ・時間を無駄にしない。だらだら仕事しない。何事も計画性を持って事に当たり、楽しむ気持ちを持つ
- ・初めて小規模を担当するので、大人の都合にならないよう、子どもたちが過ごしやすい環境をつくる
- ・「子どもに寄り添う」「子どもの声を傾ける」がなるべく自然なかたちでできるように努める事。
- ・目標→仕事に慣れる。抱負→地域に慣れる。
- ・体調を整え、元気に楽しく働く。職員間の報・連・相を心がける。
- ・初心を忘れずに、子どもの思いや考えを聴き、気持ちに沿いながら処遇にあたる。
- ・これまでの業務を振り返り、公開した事や、理解できなかった事に対して再チャレンジする。目の前の一つひとつの仕事に全力で取り組む。
- ・食中毒を出さないように衛生管理をしっかりする
- ・食育を通して野菜作り、収穫、調理実習を日々少しずつ行う。子どもの意見を聴く。
- ・一日一日を大切に。2017年度は退寮を迎える児童がいるので、進路の確定をスムーズに行えるように支援する。親・児相と連携して生い立ちの整理をしていきたい。子どもの最善の利益とは何なのか自分自身聴いていく。
- ・本体である南山寮と地域小規模みなみの円滑な運営（日々の業務を一段と効率よくしていく）
- ・初心に戻り、笑顔で心がける・チームワーク作り
- ・どの子どもも安心して南山寮で生活出来ること

愛知育児院の歴史は語る！ ⑬ 愛知婦人国恩會とは?! その2

愛知婦人国恩會の正会員数は、発会当初500名ほどでしたが、日露戦争の激化とともに増加し、明治37年12月には6,300名を超えます。当會が活動した2年3か月で、正会員から会費（毎月10銭）として8,251円65銭が集まります。当初、當會の事業は、「出征軍人遺家族の慰問並びに金銭の給与」が主でした。しかし、2千名を超える遺家族の救済は困難を窮め、同年11月、出征軍人遺家族に適當の業務を授けるべく、国恩授産所を設け、裁縫事業を開始します。婦女子等にミシン縫いの技術を教え、陸軍用シャツを裁縫することで自活生計の道を立てさせます。さらに、授産所付近に幼児保育場を設け、幼児の保育にもあたります。翌38年5月、當會は、出征軍人遺家族の婦女子が、乳幼児の子育てのために授産事業に従事することが困難となっている状況を鑑み、授産所を名古屋市尚武會に譲渡します。幼児保育事に専念し、同年8月、4か所の保育場を開設し、約300名を収容、解散する翌39年6月まで保育事業を行ったのです。

【愛知婦人国恩會 正会員 会費数】

明治37年		明治38年		明治39年	
2月	156	1月	5,909	1月	3,135
3月	504	2月	5,504	2月	3,048
4月	1,563	3月	5,019	3月	2,775
5月	1,865	4月	4,605	4月	1,088
6月	2,135	5月	4,429		
7月	2,599	6月	4,036		
8月	3,829	7月	3,950		
9月	4,204	8月	3,896		
10月	5,783	9月	3,734		
11月	6,302	10月	3,642		
12月	6,302	11月	3,568		
		12月	3,291		

コラム 南山隼人

明治149年に想つゝ 未成年と税

来年は明治元年から数えて満150年にあたるため、内閣官廳は「明治150年」関連施策推進室を設け、政府は「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」というスローガンを掲げた。今回は、その明治という時代を「未成年」という視点で読み解いてみたい。

明治31年、民法により初めて「未成年」が定義され、同33年、「未成年者喫煙禁止法」が制定される。当初「幼者喫煙禁止法案」という名前前で18歳以下を対象に提案された同法案は、適用年齢を20歳未満に引き上げて可決される。賛成派は、学生の風紀の乱れを止す、軍隊から「子中」中毒の害を廃する、といった点で法の目的として掲げた。同法案は、貴族院では反対に会い、否決されるが、本会議では「青年風紀を維持する」必要があり、「子供」が煙草を吸いながら往来を歩いているのは、国の風紀が乱れ国民が墮落している罪であるとの主張により、土壇場の大逆転という形で通過した。明治期に年少者の喫煙が問題になった当初は、「子ども」「学生」の風紀問題として問題化されたのだが、いつしか、青年層全般の問題とされ、彼らを守る「配給制」が国のためであるという意味論へと変わっていった。

同じ「未成年」という名を冠する「未成年者飲酒禁止法」は、明治34年の初閣議から大正11年の両院通過までの実に22年間を要した。未成年者飲酒禁止法の背景には、酒の流通量が増大し、飲酒の害が問題化することが増えたことや、工業化に伴って生産性の高い「畜産」の労働力の必要性を資本家が認識したことなど、近代化に伴う酒の流通と意味論の変化がある。未成年者禁酒法に反対の立場からは、酒税という税収の減少につながる法律が敬遠された。当時、酒造税が国税収入の第1位を占めており、戦費の調達に直結していたからである。未成年者飲酒禁止法成立の過程では、酒の消費者として年少者をめくって議論が進んだ。法制審議者が、保護・教育という観点から、「発達する身体」へのアルコールの害や、就学者の飲酒の教育上の問題を論じるのに対し、反対派は、旧来の慣習や酒税収入を論拠に、年少者を切り分けて飲酒を禁止する「この不利益を主張した」。反対論者にとっては、年少者の心身の健全なる成長や発達には眼中になく、酒の流通による税収増に伴う戦費の調達、年少者という消費者の減少による利益の減少が目下の課題となった。年少者を消費者とみなす資本の論理を戒め、将来や明日の生産活動に備えるという勤労道徳を浸透させるべく、29年という長い議論を経て、未成年者禁酒法は正統な法として成立する。

明治という時代を「未成年」という視点で俯瞰すると、未成年者喫煙禁止法、未成年者飲酒禁止法の制度化の理由は、未成年者の発達する身体を保護を前提としながらも、法と道徳を一致させることが国際社会へのアピールになり、それが国際社会の仲間入りを果たした大日本帝国のプライドに繋がったからだと考えられる。法制化の議論の中で、未来の労働力、兵力となることを期待しての就学率向上を目指し、より良い国民へと育成しようとする教育的論理と、酒造業者としてみれば消費者、政府としてみれば戦費調達のための納税者という利潤や経済性を重視する論理との対立的な構図があった。権利の主体者としての「未成年」という捉え方はまったく存在せず、「未来の労働力」「未来の兵力」になることが期待されたのだ。そこには、明治という時代を象徴する「富国強兵・文明開化・殖産興業」という国策への橋頭堡となる「未成年者観」があったと考えられる。(リョウチョウ)

平成29年 5月号
(月刊：毎月1日発行)

<明治19年10月 第三種郵便物無認可>

発行：社会福祉法人 愛知育児院
児童養護施設 南山寮

編集責任者：施設長 山田 勝己

〒466-0835 名古屋市昭和区南山町5番地

TEL (052)831-3750 FAX (052)836-7483

e-mail: sanzanryo.1909@space.ocn.ne.jp